

# 第2期経営発達支援事業 第1回事業評価委員会報告書

令和4年4月21日(木)

愛荘町商工会 事業評価委員会

委員長 川北 日出夫



## 1. 事業評価委員会の実施

愛荘町商工会・愛荘町の経営発達支援計画に関する令和3年度事業評価委員会は、令和4年4月21日に愛荘町商工会にて、4名の評価委員、法定経営指導員、事務局長及び経営指導員の皆さんの出席のもと実施された。以下に、委員会での意見交換の内容及び評価結果を記す。

## 2. 委員会での意見交換のまとめ

事務局から事業評価報告書の内容について説明を受けた後、参加メンバーによる意見交換を行った。議論の内容を、事業内容の項目ごとに以下にまとめる。時間の関係で触れられていない項目もあるが、他の項目での議論内容も参考になるので参照されたい。

### 取り組みの全般について

- 彦愛犬から各商工会への事業となった第2期、1年目の取り組みだったが、支所を統合することで多くの指導員が互いに相談したり、得意分野を担当したりできるようになり支援体制が充実した
- 広域連携の体制を活かした事業を推進できていると感じている
- コロナ禍で活動の制約があるなか、数値目標は大きく上回っているものもある。目標値を見直すつもりはあるか。
  - 一 計画の変更は難しい、自主目標として設定していくことは可能。
- 数値目標を追い求めるより、支援の質的向上を目指す、あるいは事業者に期待する成熟度(経営のスキルレベル)を提示して理解、納得を得る等、支援内容の変革を考えてみるのがあるのではないかと
- 優れた取り組みは事例集にまとめて情報発信すると良い。特に支援者を対象に、工夫した点、得られた知見等をまとめればノウハウの共有、発展に活かせる

### 3-2 需要動向調査に関すること

- ドライブスルーはコロナ禍でできることを工夫した優れた試みである。プロモーション動画作成等、個社ではなかなかできないこともやっていて素晴らしい

## 5 事業計画策定支援に関すること

- 事業計画策定の必要性、重要性について、事業者と支援者との間に大きなギャップがあるのが悩み
  - 一 補助金はいつか無くなる、補助金なしでもやりたいか、環境変化があっても成り立つか、事業計画をしっかりと作ることによって新規事業の成功確率が高められる
- 仕入れ価格の変動が利益にどれだけ影響するか、様々なリスクを評価する等、数値計画を楽観的すぎないように、計画を吟味するための別視点を提供して欲しい

